

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	・業務が多忙の際や、話が上手く伝わらない時に言葉掛けの配慮に欠けることがある。	入居者のプライバシーを確保し、安心して生活できる。	・業務改善を行い、落ち着いて入居者と接することができるようにする。 ・日頃から職員の言葉遣いに気をつけ、注意し合う関係作りに努める。 ・プライバシーが確保出来るよう言動に注意する。	6ヶ月
2	34	・急変時や体調不良があった際に、対応方法に不安を感じることもある。	急変時にも対応できる実践力を身に付ける。	・急変時の対応方法について再確認し、不安があるところは対処方法について話し合いを行い解決する。 ・入居者の対応について、クリニックや訪問看護との連絡や連携を図り、不安がないよう対応する。	6ヶ月
3	27	・入居者の詳しい様子が記録されていないことがある。 ・家族と話し合った内容が詳しく記録されていないことがある。	記録を見返した際、状態や状況が把握できる記録を行う。	・入居者の様子や言動をしっかり観察し記録に残す。 ・追加の記録があれば、忘れないうちに記録に残す習慣を身に付ける。 ・各自、責任をもって記録する。	6ヶ月
4	48	・入居者の状態にあった役割が提供出来ていない。	毎日、やりがいや楽しみをもって生活出来るよう支援する。	・各入居者の出来ることを把握し、状態にあったものを提供し支援する。 ・参加者全員が楽しめるような行事を企画する。	6ヶ月
5	19	・ご家族との面会が制限されているため、ゆっくり関わるのが難しい。 ・入居者の状態をご家族にしっかり伝わっているのか不安に感じることもある。	ご家族と密に連絡をとり、状態だけでなく生活している様子がわかるようにお伝えし、信頼関係を築いていく。	・入居者に状態変化が見られた際は、その都度ご家族に報告し、状態を把握していただけるよう努める。 ・話しやすい環境を作り、ご家族の意見や要望を取り入れる。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	定期的に防災訓練は行っているが、不安を感じることがある。	職員各自が災害時の対応方法を周知し、お互い協力しながら行動出来るようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応について職員間で共有する。 ・災害時に落ち着いて行動できるようシュミレーション学習や持ち物の準備などの対応に努める。 	6ヶ月
2	34	急変や事故発生時の対応方法について学習会を通じて学んでいるが、不安に感じることがある。	急変や事故発生時の対応方法についての知識を深め、いざという時に落ち着いて行動出来る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会で学んだことを確認しながら、シュミレーション学習にも取り組み、行動出来るよう対応する。 ・不安がある場面を想定し何度も再確認し合う。 	6ヶ月
3	16	ご家族へ入居者の状態を報告する際に、説明不足により不安を感じさせてしまうことがあった。	入居者の状態変化時には、迅速にご家族へ連絡し詳しい状態をお伝えする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族へ状態を報告する際、専門用語などを使わずにわかりやすく丁寧に説明する。 	6ヶ月
4	23	入居者の思いや意向に対して、職員の受け止め方に差があるように感じる。	入居者の思いや意向を理解し、統一したケアが出来るよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の思いや意向を再確認し、職員間で情報を共有し合う。 ・意思表示が難しい入居者は、生活歴やご本人の表情などから読み取れるよう努める。 	6ヶ月
5	18	入居者の介護度が高い傾向にあり、家事やレクリエーション活動に協力をいただけない場面が多くなってきた。	入居者の状態に合わせた役割を提供し、共に支え合う関係を築く。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の出来る事を把握する。 ・職員が支援しながら出来る事を協力していただき、感謝の意を伝える。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	・ご家族との面会は可能だが、感染防止にて制限があるため、ゆっくり関わるのが難しい。 ・入居者の状態をその都度電話にて報告しているが、しっかり伝わっているか不安がある。	ご家族への連絡を密にとり、状態をしっかりとお伝えし信頼関係を築く。	・ご家族へ連絡を行う際に、電話を掛ける時間帯に配慮し話しやすい環境を作る。 ・誰にでもわかりやすい言葉でご本人の様子を報告し理解を得られるように努める。	6ヶ月
2	36	普段から言葉遣いに気をつけているが、業務が多忙になると言葉掛けに配慮が欠ける時がある。	丁寧な言葉遣いで対応し、安心して過ごしていただけるよう対応する。	・職員一人一人が言葉遣いに気をつける。 ・プライバシーが確保できるよう、介助する際は特に自尊心に配慮し対応する。	6ヶ月
3	27	・入居者の詳しい様子が記録されていないことがある。 ・家族と話し合った内容が詳しく記録されていないことがある。	入居者の状態やご家族とのやり取りの内容を正確にわかりやすく記録する。	・入居者の言動をよく観察し、状態を詳しく記録する。 ・誰が見ても理解できる文章で簡潔に記録する。 ・担当した職員が責任をもって記録する。	6ヶ月
4	44	便秘が続かないように排便コントロールを行っているが、確認し把握することが難しい場合がある。	毎日の排便を促し、入居者が快適に過ごせるよう支援する。	・便秘傾向が見られた際は、早めに医療機関へ相談し指示を仰ぐ。 ・水分摂取量の確保と体を動かす機会を設け、便秘解消に繋げていく。	6ヶ月
5	48	入居者が楽しみや気分転換になる機会が少ないように感じる。	やりがいや楽しみを持って生活出来るよう支援する。	・入居者の出来る事を把握し、状態に合った活かせる場を提供する。 ・入居者全員の方々に楽しんでいただけるような行事を実施し支援する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	入居者のペースや希望に沿った支援が十分に出来ていない時がある。	入居者が希望する自分らしい生活を過ごしていただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務が多忙にならないよう業務改善に取り組む。 ・入居者に寄り添い傾聴する時間を多くもてるよう対応する。 ・職員間での情報共有を密にし、入居者の状態を把握に努め快適な生活を提供する。 	6ヶ月
2	36	業務が多忙になると言葉掛けに配慮が欠けることがある。	入居者の人格を尊重し、適切な言葉掛けを行い気持ちよく生活していただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣いやマナーについての学習に取り組む。 ・職員同士が言葉遣いやケアの対応についてお互い意見を出し合い、改善策を話し合う。 	6ヶ月
3	13	職員によってケアに対する知識や力量が不足している。	学習委員会を中心にして、職員全員のスキルアップを図りケアの質の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内部の研修だけでなく、外部の研修にも積極的に参加し、知識や技術の向上を図る。 	6ヶ月
4	27	入居者の状態把握に関して、職員間での情報共有が不十分な時がある。	入居者に関わる職員(他職種含む)同士での情報を共有し合い状態把握に努め、快適な生活を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種間での情報共有に努め協力関係を密にする。 ・気付きを大切に細かな情報も記録に残す。 	6ヶ月
5	34	急変時や事故発生時に、冷静な対応が出来るか不安がある。	急な場面でも落ち着いて的確な対応が出来るようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器の使用方法や連絡体制を再確認する。 ・学習会を通して、対応方法について知識を深め不安要素がなくなるよう努める。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。